※2017~2020年度入学者適用

修得単位自己チェックシート　（生命情報科学・生命工学用）

所属講座（　　）　学生番号（　　）　氏名（　　）

履修概要を確認の上、自分が修得した単位数の確認、及び今後履修すべき科目の検討にお役立てください。

１．単位を修得した科目にチェックを入れて下さい。
２．「修得単位数」欄に合計修得単位数を記入してください。

科目区分		形式	科目名	✓	単位	科目名	✓	単位	修得単位数		修士学位要件	博士学位要件
必修基礎科目			生命倫理学		1				計		１単位	１単位
基礎科目群			生命医科学Ⅰ		1	生命医科学Ⅱ		1			４単位以上※	４単位以上※
			分子生命科学Ⅰ		1	分子生命科学Ⅱ		1				
			生命理学Ⅰ		1	生命理学Ⅱ		1	計			
			※**生物系学部を卒業した者**は、修了要件の「基礎科目群から４単位」について、指導教員と相談の上、上記６科目の一部又は全部に替えて、下記４科目から単位を修得することも可能です。								※	※
			生命情報科学Ⅰ		1	生命情報科学Ⅱ		1				
			生命工学Ⅰ		1	生命工学Ⅱ		1	計			
専門科目群	生命情報科学	講義・演習	生命情報電子計測特論		1	生命情報数理モデル特論		1			６単位以上	６単位以上
			生命情報統計学特論		1	生命機能制御情報特論		1				
			生命情報データ処理特論		1	認知神経科学特論		1				
			生命情報システム特論		1	脳情報科学特論Ⅰ		1				
			生命情報学習特論		1	脳情報科学特論Ⅱ		1				
	生命工学		細胞・組織工学特論		1	有機材料物理工学特論		1				
			細胞培養工学特論		1	細胞バイオメカニクス特論		1				
			医用化学基礎		1	ナノマイクロ医工学特論		1				
			医用化学特論Ⅰ		1	抗加齢食品工学特論		1				
			医用化学特論Ⅱ		1	構造生物学特論		1	計			
	生命医科学		生命医科学特論Ⅰ		1	生命医科学特論Ⅱ		1				
			生命医科学特論Ⅲ		1	生命医科学特論Ⅳ		1				
	分子生命科学		分子生命科学特論Ⅰ		1	分子生命科学特論Ⅱ		1				
			分子生命科学特論Ⅲ		1	分子生命科学特論Ⅳ		1				
	生命理学		生命理学特論Ⅰ		1	生命理学特論Ⅱ		1				
			生命理学特論Ⅲ		1	生命理学特論Ⅳ		1				
			生命理学特論Ⅴ		1				計			
	特別講義		特許取得･ﾊﾞｲｵﾍﾞﾝﾁｬｰ立ち上げ論		2							
			生命情報科学特別講義		1	生命工学特別講義		1	計			
			生命医科学特別講義		1	分子生命科学特別講義		1				
			統合生命科学特別講義Ⅰ		1	統合生命科学特別講義Ⅱ		1				
			統合生命科学特別講義Ⅲ		1	統合生命科学特別講義Ⅳ		1				
			統合生命科学特別講義Ⅴ		1	統合生命科学特別講義Ⅵ		1				
			統合生命科学特別講義Ⅶ		1	統合生命科学特別講義Ⅷ		1				
			統合生命科学特別講義Ⅸ		1	統合生命科学特別講義Ⅹ		1	計	計		
	その他（他学府聴講等）										１３単位	１３単位
			☆大学院基幹教育科目と国公私立大コンソーシアム・福岡での修得単位はこのうち２単位までとします						計	計		
特別演習		研究・教育指導	システム生命科学特別演習Ⅰ	･･･		博士１年次の研究活動評価		4	計		4単位	4単位
			システム生命科学特別演習Ⅱ	･･･		博士２年次の研究活動評価		4	計		4単位	4単位
特別研究			システム生命科学特別研究	･･･		博士１・２年次の研究活動評価		6	計		6単位	6単位
学際開拓創成セミナー			学際開拓創成セミナーⅠ	･･･		修士論文発表会参加		2	計		2単位	2単位
			学際開拓創成セミナーⅡ	･･･		オールラボコンテスト参加		2	計			2単位
領域講究			システム生命科学領域講究	･･･		博士５年次の研究活動評価		4	計			4単位
博士論文指導演習			博士論文指導演習					6	計			6単位
						合　計					30単位	42単位

○ 修士の学位については、原則取得できる学位は「**修士（システム生命科学）**」ですが、指導教員の所属条件を満たし且つ工学府の大学院科目から合計６単位以上修得することにより「**修士（工学）**」を、また、システム情報科学府の大学院科目から合計６単位以上修得することにより「**修士（情報科学）**」を「**修士学位（システム生命科学）**」の代わりに取得することもできます。（取得する学位については、事前に指導教員への相談が必要です。）